

お金の心配なく
大学や専門学校で学びたい
**外国籍の
学生・高校生**
のみなさんへ

学ぶ意欲がある学生は、
世帯収入などの要件を満たす場合には、
大学などの授業料や生活費のため

日本学生支援機構の奨学金

などを受けることができます

在留資格等	特別永住者	永住者 日本人の配偶者等 永住者の配偶者等	定住者 ※将来永住する意思がある 方に限る	一定の要件を満たす 家族滞在 (R6.4~) ※日本の小学校等~高校等 を卒業し、大学などを卒業後 も日本で就労・定着する意 思がある方に限る
世帯収入	給付型奨学金、授業料・入学金減免 (返さなくていい) 世帯年収 …約 380万円 以下 (目安) 多子世帯※の授業料等減免は、 所得制限なし 私立理工農系の授業料等減免は、約 600万円 以下 (目安) ※扶養する子供が3人以上の世帯の場合		貸与型奨学金 (返す必要あり) 【無利子奨学金】 私立自宅通学・給与所得者・4人世帯・大学学部の場合 世帯年収…約 800万円 以下 (目安) など	
いつ申請 するか	高校3年生の4月下旬~ または進学後の4月~/9月~		どこへ申請 するか	通っている学校から申請 ※締切は学校ごとに異なります

【支援額など】

	給付型奨学金、授業料・入学金減免	貸与型奨学金
年収の基準	■第1区分(満額支援)：270万円程度以下 (住民税非課税世帯) ■第2区分(2/3の支援)：300万円程度以下 ■第3区分(1/3の支援)：380万円程度以下 ■第4区分※：600万円程度以下 ※①多子世帯の学生等 (給付奨学金は1/4、授業料等減免は満額の支援) ②私立理工農系の学部・学科に在籍する学生等：1/4等の支援・授業料等減免のみ支援 備考1 多子世帯は授業料等減免のみ満額を支援する (所得制限なし)。 2 年収は目安。世帯の構成やきょうだいの年齢などにより異なる。	■家族構成等によって世帯年収の限度額は異なる。 以下は、私立自宅通学・給与所得者・4人世帯・大学学部の場合 無利子奨学金 約800万円 以下 無利子の 家計基準詳細 有利子奨学金 約1,250万円 以下 有利子の 家計基準詳細
対象となる 学校種	■一定の要件を満たした大学、短期大学、 高等専門学校 (4年・5年)、専門学校 対象となる学校は文部科学省ホームページを参照	■大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、大学院
支援額	■年収等に応じた区分で支援額を決定 給付型奨学金の支援額例 ※月額 例) 世帯年収270万円以下で 自宅外から大学に通う場合 国公立 66,700円 私立 75,800円 授業料減免の上限額 (年額) ※単位未満は四捨五入 例) 世帯年収270万円以下で 大学に通う場合 (※) 国公立 入学金28万円 授業料54万円 私立 入学金26万円 授業料70万円 ※多子世帯の場合も満額支援	■貸与月額を選択可能 大学学部の場合 無利子奨学金 2、3、4、5.4万円 (私立自宅通学の場合) 有利子奨学金 2~12万円の 1万円単位 入学時特別増額貸与奨学金：10~50万円の10万円単位 ※進学前に申請。進学後、貸与型奨学金の初回振込時に併せて貸与 ※入学時特別増額貸与奨学金のみの申請はできません。

詳細・問合せ先

●文部科学省の特設サイト「高等教育の修学支援新制度」

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

●日本学生支援機構

ホームページ

給付型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

貸与型奨学金

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

奨学金

相談センター

電話：0570-666-301 (月~金、9時~20時)

※土日祝日、年末年始を除く

※通話料がかかります。

自分が支援の対象になるか調べてみよう

進学資金シミュレーター

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

給付奨学金・貸与奨学金
それぞれの基準に該当
するのかなどを調べることが
できます。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



出入国在留管理庁

Immigration Services Agency of Japan